

# クラスがもっとよくなるかかりの きめかたをかんがえよう！

小学校・1～3年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

「男の子らしさ」「女の子らしさ」より、「自分らしさ」をもって主体的に行動することで、よりよい集団形成につながるという意識をもち、積極的に集団に参加できるようにする。

◇関連する個別の人権課題「女性」

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

- （1） よりよい社会・集団づくりに主体的に参加・参画する態度を身に付けている。（価値・態度）
- （2） 日常生活で見過ごしていたり、当たり前のように感じたりしてしまいがちなことを疑問に思うことができる。（技能）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

設定場面の状況について説明を聞く。

#### ○活動2

各自が「クラスがもっとよくなるかかりのきめかた」を実施し、感じたことや考えたことを話し合う。

## 2 準備するもの

- 事前アンケート
- 事前アンケート結果
- ワークシート
- 「クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！」の掲示用イラスト（ワークシートのイラストの部分を拡大したもの）
- 振り返りシート

## 3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！」
  - ① 活動の説明を聞く。
    - ・設定場面の状況について説明を聞く。
  - ② 教師の演技を見て、感じたことを話し合う。
  - ③ 実際に役割演技をする。
- 活動2 「振り返り」
  - ① 本時の学習を振り返り、自分のクラスで係を決めるとき、どうすればよいのかを考える。

## 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 誰もが安心して、主体的に参加・参画できる集団づくりへの関心が高まるよう、アクティビティーや日常生活の中で、自他のよさや可能性を生かそうとする児童の言動を認めることが大切である。
- 事前アンケート結果を導入で活用すると、アクティビティーへの意識を高めるのに有効である。
- 「男の子だから」「女の子だから」といった固定的な性別役割分担意識に基づいた意見が出やすいプログラムであるが、話し合いを深めるために、初めから否定せず、意見をたくさん出させるようにする。
- 係とは、「クラスをよりよく楽しくしていくものである」という前提条件をしっかりと押さえる。
- ワークシートでは、「かざり係を希望する男子児童」という設定になっているが、学級の実態に応じて変えてもよい。
- 活動の振り返りをすることで、男女共同参画の視点に立ったよりよい集団形成への意識を高めていけるようにする。
- 実際に係活動決めをする際の導入として実践すると効果的である。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 事前アンケート結果の確認</p> <p>T 事前にとったアンケートの結果を発表します。</p> <p>C 手を挙げられなかったと答えている人は少ないね。</p> <p>C でも、手を挙げられなかった人もいるんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの意図を簡潔に話す。 〈アンケートの意図〉</li> <li>・今までの経験を想起させ、自分自身の問題としてとらえられるようにする。</li> </ul>
25分	<p>2 学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！</p> </div> <p>3 係活動決めの場面の状況説明</p> <p>T 今からみなさんに、ワークシートを配ります。まずは、心の中で読んでみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係とは「クラスをよりよく楽しくしていくものである」ということについて話す。</li> </ul>
	<p>4 教師による「2番・4番の児童」の役割演技</p> <p>T これから2番さんの言葉を先生が読みます。</p> <p>T 2番さんの言葉に対してどう思いましたか。</p> <p>C ひどい。</p> <p>C そんなことは言わない方がよい。</p> <p>T 次に4番さんの言葉を読みます。</p> <p>T どう思いましたか。</p> <p>C 気にしなくてよいと思う。</p> <p>C 自分もそう思うかもしれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況を説明しながら、黒板に拡大したワークシート（イラストの部分のみ）を掲示する。</li> <li>・自由に発言してもよいが、誰かを傷つけるような発言をしてはいけないことを押さえる。</li> </ul> <p>◎日常生活で見過ごしがちな固定的な性別役割分担意識でなく、個人として尊重される視点に気付けるように、「2番・4番の児童」の言葉を取り上げて、どう思うか問いかける。(技能)</p>

	<p>5 児童による「3番の児童」の役割演技</p> <p>T 次はみなさんが、3番さんになってみましょう。</p> <p>T ワークシートに3番さんの気持ちを考えて書きましょう。</p> <p>T 3番さんになって、隣の人に気持ちを伝えてみましょう。</p> <p>C 1番さんは、折り紙が上手だから、ぴったりだと思ふな。</p> <p>C ぼくも折り紙が好きだから手を挙げようかな。</p> <p>※何人かに発表してもらってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3番の児童の役割演技をすることで、児童自身の気持ちを見つめられるようにする。</li> <li>・最後まで「1番の児童」がかざり係に入ることには否定的な意見があった場合は、なぜ男の子ではダメなのか理由を考えさせ、固定的な性別役割分担意識に気付かせる。</li> <li>・クラスの実態に応じて、全体交流の前にペアやグループ活動を入れてもよい。</li> </ul>
15分	<p>6 振り返り</p> <p>T これから私たちのクラスでも係を決めていきます。クラスがもっとよくなるための係は、どのように決めていくとよいのでしょうか。今日の学習を振り返って考えたことを振り返りシートに書きましょう。</p> <p>C 自分のやりたい係に手を挙げた方が、楽しく係の仕事ができると思う。</p> <p>C 人がやりたいと思っていることを認めることは大切。</p> <p>C 自分の好きなことを一生懸命にがんばる。</p>	<p>◎係活動を通して、性別に関わりなく個人として尊重され、あらゆる種類の活動に参加・参画できる集団の形成に向けて意欲を高められるよう、ねらいに沿った意見を取り上げ、称賛する。(価値・態度)</p>

**IV 資料**

(1) 事前アンケート

**こんなこと、ないかな？**

なまえ ( )

1 じぶんが「やりたい。」とおもったかかりになれなかったことはありますか。  
 ( ある / ない )

2 1で「ある」をえらんだひとは、なぜですか。りゆうをかきましょう。

3 かかりをきめるとき、てをあげたいのに、あげにくいとおもったことはありますか。  
 ( ある / ない )

4 3で「ある」をえらんだ人は、なぜですか。りゆうをかきましょう。

(2) 振り返りシート

**クラスがもっとよくなるかかりのきめかたをかんがえよう！**

なまえ ( )

☆ これから、「クラスがもっとよくなるようなかかりをきめるため」に、あなたはどうしますか。かんがえをかきましょう。


## (3) ワークシート

## クラスがもっとよくなるかかりのきめかたをかんがえよう！

なまえ ( )

- ☆ 1くみでは、かかりをきめています。  
あそびがかり・まんががかり・かざりがかり・おたんじょうびがかり・しんぶんがかりなど、いろいろなかかりができました。
- ☆ 1ばんさんは、おりがみがすきな おとこの子 です。「かざりがかりにはいりたいなあ。」とおもっています。かざりがかりは、3人ですが、2人は おんなの子 にきまったようです。
- ☆ 1ばんさんは、かざりがかりに手をあげました。
- ◎ 3ばんさんのきもちをかんがえて、かきましょう。

